

2020年度（令和2年度）

第1回 福山市総合戦略推進懇話会

会議資料

2020年（令和2年）8月18日
福山市企画政策部企画政策課

1 福山市総合戦略

- ・概要, これまでの取組状況 など

1 総合戦略の策定

2014年12月

- まち・ひと・しごと創生総合戦略 閣議決定
(計画期間：2015年度～2019年度)

2015年10月

- 福山市総合戦略の策定 (計画期間：2015年度～2019年度)
- 福山市人口ビジョンの策定 (目標期間：2060年)

※本市における人口の現状を分析し、人口の将来展望を示すものであるとともに、福山市総合戦略の施策を企画・立案する際に基礎となるもの

2019年12月

- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 閣議決定
(計画期間：2020年度～2024年度)

2020年3月

- 福山市総合戦略の一部改訂 (計画期間：2015年度～2020年度)

2 総合戦略の推進体制

◆ 福山市総合戦略推進懇話会

福山市総合戦略、福山市人口ビジョンの策定・変更、総合戦略に基づく施策の実施及び検証するために設置 (各種団体の代表で構成)

◆ 福山市総合戦略推進会議

福山市総合戦略推進懇話会の意見に基づく具体的な連携の検討・調整、地方創生関係交付金の効果検証等のために設置 (各種団体の事務局で構成)

3 総合戦略推進に向けた4つの視点

視点1

安定した雇用を創出する

- (1) ものづくり産業の競争力強化
- (2) 第一次産業の活性化
- (3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出
- (4) 高等教育機能の強化

視点2

魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- (1) 観光振興
- (2) 地域振興

視点3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 結婚の支援
- (2) 出産・子育ての支援

視点4

安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

- (1) 医療・福祉サービスの充実
- (2) 健康づくり
- (3) 時代に対応したまちづくり
- (4) 地域を支える人材育成

成果

○地方創生に向けた環境整備

産業活力・雇用の創出

- ◇ 中小企業支援・創業支援拠点の設置
- ◇ 地域経済の活力につながる資源の磨き上げ

新たなひとの流れの創出

- ◇ 兼業・副業、ワーケーションなど新しい働き方による新たな交流人口の増加
- ◇ リノベーション等によるまちの魅力向上

希望の子育て

- ◇ 福山ネウボラの創設
- ◇ 子育てに係る経済的負担の軽減
- ◇ 小児救急医療体制の確保

安心・安全な暮らし

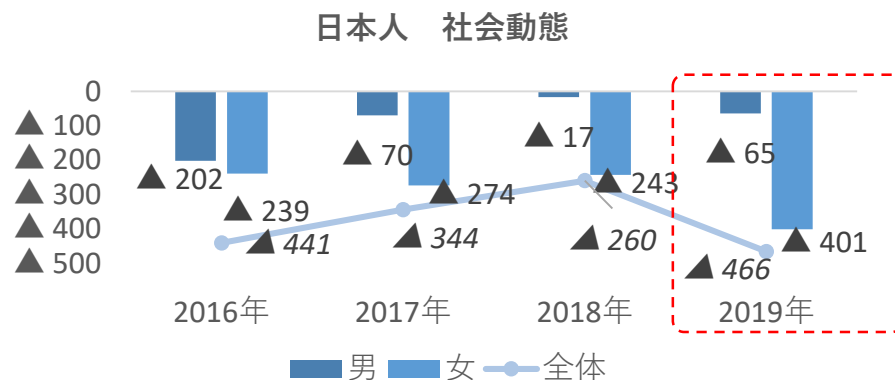
- ◇ 広島県、岡山県との医療連携の促進
- ◇ 広域的な都市基盤の整備

課題

●人口減少対策の強化が必要

転出超過の抑制

- ◆ 回復傾向にあった転出超過数が2019年は増加



●社会環境の変化への対応が必要

若者や子育て世代が望む社会環境への対応

- ◆ コロナの拡大による意識・行動の変化

外国人への対応

- ◆ 外国人の増加に対する対策

「新しい生活様式」を取り入れた施策の構築や見直しが必要

視点1

安定した雇用を創出する

成果

- ◆ 中小企業支援・創業支援拠点の設立
- ◆ 地域経済の活力につながる資源の磨き上げ

- (1) ものづくり産業の競争力強化
 - 福山ビジネスセンターサポートセンターFuku-Bizの運営
 - デニムプロジェクトの実施
- (2) 第一次産業の活性化
 - 水産物ブランド化推進事業（備後フィッシュ）
 - 備後ワインプロジェクトの実施
 - 6次産業化の推進（販路開拓支援など）
- (3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出
 - 若年者就職支援事業（出前講座、企業見学会など）
- (4) 高等教育機能の強化
 - 備後圏域グローバル人材育成事業
 - 官民協働留学支援（トビタテ！留学JAPAN）

数値目標・KPI	基準値	目標値	現在値	進捗
大卒者の地元就職率	31.7% (2014年度)	40.0 % (2020年度)	28.5% (2019年度)	↘
6次産業化による新商品開発(累計)	- (2014年度)	17件 (2020年度)	20件 (2019年度)	↗
首都圏販路開拓事業のマッチング件数(累計)	- (2014年度)	30件 (2020年度)	40件 (2019年度)	↗
創業促進セミナー受講者数	- (2014年度)	250人 (2020年度)	110人 (2019年度)	↘
女性創業者数	- (2014年度)	25人 (2020年度)	17人 (2019年度)	→
産業支援コーディネーター派遣企業件数	28件 (2010～2014平均)	55件 (2020年度)	51件 (2019年度)	↗

視点2

魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

成果

- ◆ 兼業・副業、ワーケーションなど新しい働き方による新たな交流人口の増加
- ◆ リノベーション等によるまちの魅力向上

- (1) 観光振興
 - 福山城築城400年記念事業の実施
 - 備後圏域タクシー観光キャンペーンの実施
- (2) 地域振興
 - 戦略推進マネージャーの活用（兼業・副業限定の高度専門人材）
 - ワーケーション福山（新しい働き方の実践）
 - 福山版MICEの推進
 - リノベーションスクールの実施（リノベーションのまちづくり）

数値目標・KPI	基準値	目標値	現在値	進捗
総観光客数	6,758千人 (2014年)	7,720千人 (2020年)	7,212千人 (2019年)	↘
備後圏域の総観光客数	20,920千人 (2014年)	24,152千人 (2020年)	24,224千人 (2019年)	↗
移住について具体的な相談に入っている人数	- (2015年度)	100件 (2020年度)	36件 (2019年度)	↘

【凡例】

達成率80%以上	↗
達成率50%以上80%未満	→
達成率50%未満	↘

視点3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

成果

- ◆ 福山ネウボラの創設
- ◆ 子育てに係る経済的負担の軽減
- ◆ 小児救急医療体制の確保

- (1) 結婚の支援
 - ふくやまde愛サポーターの活動支援（婚活caféの開催）
- (2) 出産・子育ての支援
 - 相談窓口「あのね」を中心とした切れ目のない子育て支援
 - 子ども医療費助成の拡充
 - 岡山大学と連携した寄付講座（小児急性疾患学講座）の設置

数値目標・KPI	基準値	目標値	現在値	進捗
ふくやまde愛サポーターが仲をとりもった数(累計)	— (2014年度)	100組 (2020年度)	98組 (2019年度)	↗
地域子育て支援拠点事業を実施する施設数	29施設 (2015年度)	34施設 (2020年度)	33施設 (2019年度)	↗
一般不妊治療受診数	— (2015年度)	450件 (2020年度)	138件 (2019年度)	↘

視点4

安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

成果

- ◆ 広島県、岡山県との医療連携の促進
- ◆ 広域的な都市基盤の整備

- (1) 医療・福祉サービスの充実
 - 看護師の養成・確保（福山府中二次保健医療圏の看護専門学校等への運営費補助，ナースセンターサテライトの設置）
 - 地域包括ケアシステムの構築（郵便局と連携した高齢者の見守りなど）
- (2) 健康づくり
 - ふくやま健康・食育市民会議（フクイク21）の開催
- (3) 時代に対応したまちづくり
 - 地域公共交通再編実施計画の検討
 - 地域防災を担う人材の育成（防災リーダーの育成など）
- (4) 地域を支える人材育成
 - 福山100NEN教育の推進（自ら考え学ぶ授業づくり）
 - 土曜チャレンジ教室の実施

数値目標・KPI	基準値	目標値	現在値	進捗
福山防災リーダーがいる学区数	47学区 (2015年度)	80学区 (2020年度)	71学区 (2019年度)	→
まちづくりに関心がある市民の割合	70.8%以上 (2015年度)	80.0% (2020年度)	70.1% (2019年度)	↘
社会の役に立つ人間になりたいと回答した生徒の割合	93.2% (2014年度)	98.0% (2020年度)	95.3% (2019年度)	↘

【凡例】

達成率80%以上	↗
達成率50%以上80%未満	→
達成率50%未満	↘

2 人口減少対策

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさない取組を進めます。

ペルソナ

2040年の
目標

多様なライフスタイルが
実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある

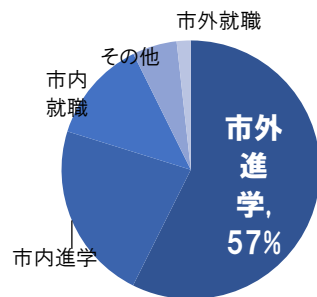
希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

ライフステージごとの課題

進学時

高校生の進学/就職状況



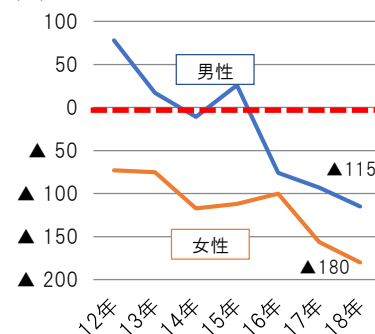
出所: 広島県学校基本調査、高校生進学先調査(福山市)から作成

進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

就職期

(人) 20~24歳 転出入増減



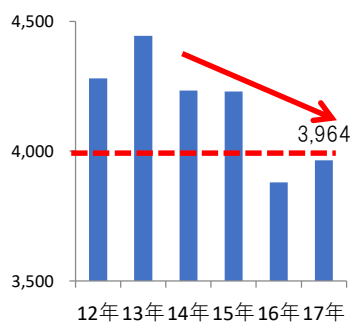
出所: 住民基本台帳を基に作成

就職期における転出超過

- ・20代前半で転出が増加傾向, 20代後半以降で外から呼び込む力が低下

結婚・出産

(人) 出生数



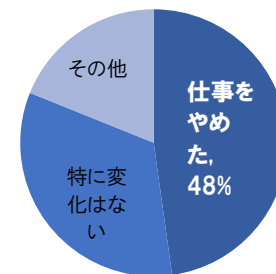
出所: 厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降, 自然減が継続

子育て

結婚や出産後の仕事の変化



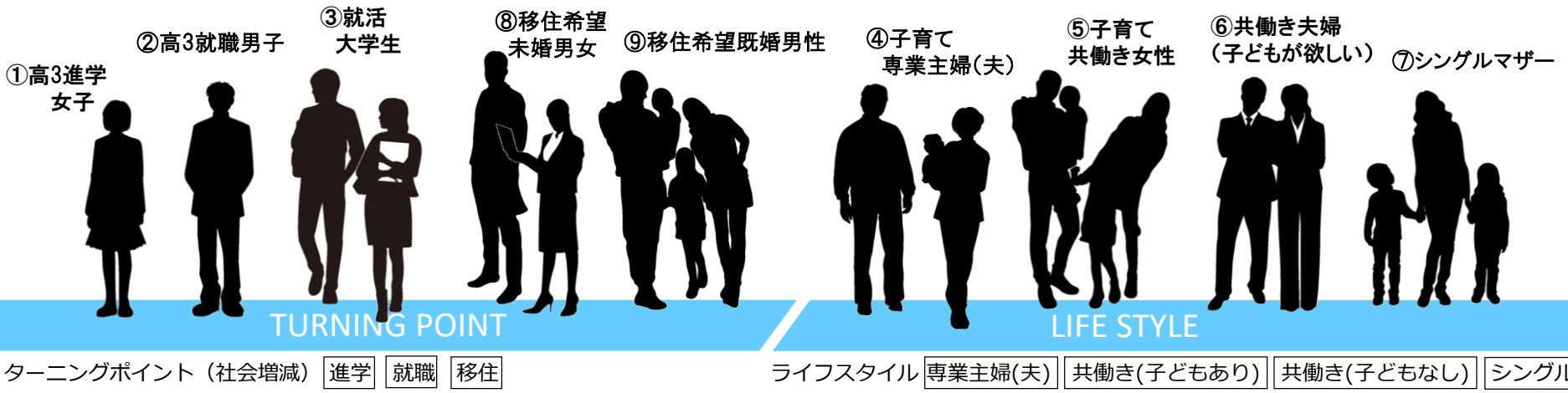
出所: 「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」から作成

子育てと仕事の両立に対する負担

- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

政策ターゲット(9つの人物像)の設定

人口減少対策を **3つのターニングポイント** と **4つのライフスタイル** で捉える



9つのペルソナを設定

重点的に取り組むペルソナ

福山で暮らす“未来を描く”



① 高3進学女子 キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援
地元定着の促進

企業と学生が“出会う”



③ 就活大学生 市内企業とのマッチング強化
働きやすい職場環境づくりの推進

子どもの成長に“幸せ”を感じる



⑤ 子育て共働き女性 子育てサポートの充実

妊娠・出産・子育ての“不安解消”



⑥ 共働き夫婦(子どもが欲しい) 子育てにかかる負担の軽減
妊娠と仕事の両立支援

2020年度 人口減少対策

満足度を高める3つの柱

①働き方改革の推進

②男性の育児参加促進

③地域の子ども・子育て支援の充実

2020年度強化する取組

ワーケーションふくやま

before	after
<p>経営者意識改革支援事業</p> <p>・働き方改革の実践に向けた個社支援の実施</p>	<p>企業のICT化促進に向けたスキルアップセミナー 先端技術見本市の開催</p> <p>◎企業のオンライン化支援</p> <p>・事業のオンライン化によって業績を好転させる取組やテレワークの導入、ECサイト構築等に向けたコンサルティング費用への助成</p> <p>◎IoTの導入、生産性向上等の経営基盤強化支援</p> <p>オンライン企業説明会等の実施</p> <p>◎WEB合同企業説明会や面接への助成</p> <p>エフエムふくやま緊急就活応援ラジオの実施</p>
<p>子育てパパ活躍ウィーク</p>	<p>(仮称) サクス！家族ウィーク</p>
<p>地域の子ども・子育て支援の充実</p>	<p>オンラインによる相談の実施</p> <p>・オンライン母子保健事業等の実施（こんにちは赤ちゃん訪問事業、親子教室など）</p> <p>子育て情報の発信</p> <p>・YouTubeで、若者や子育て世代に福山市の魅力を発信（動画配信全9本（チャンネル登録者数が7月に1万人突破）</p>
<p>福山で働き・暮らし・交流する体験の場の提供</p>	<p>◎ワーケーションふくやまの強化</p> <p>・ワーケーションプランの開発支援（宿泊施設等への助成）</p> <p>・ワーケーション体験者誘致イベントの実施</p> <p>◎都市圏の転職希望者への支援</p> <p>・都市圏等の転職希望者へのインターンシップ支援（企業とのマッチング、交通費・宿泊費の助成）</p>

◎補正予算

ソフトバンク株式会社

福山商工会議所 雇用対策協議会

市内企業や団体と行政

地域おこし協力隊



3 新型コロナウイルスの感染拡大による意識・行動の変化

3-1 新型コロナウイルスの感染拡大による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査(概要)

【調査目的】 住民の現状や感染拡大の収束後の意識・行動変化などを把握し、効果的な施策・事業の構築につなげる

【調査時期】 2020年5月29日(金)～6月1日(月)

【調査対象】 備後圏域の住民(18歳から49歳まで) 500人 ※対象自治体間の人口や男女の比率を考慮

○ 家族との関係の変化(昨年比)

- ・ 家族と過ごす時間について、約6割が増えた(「増えた」「やや増えた」と回答)。
- ・ 一方、「家事や育児の時間が増えストレスを感じた」と回答した女性の割合が男性よりも高い(女性のうち「子育て専業主婦」グループの中でストレスを感じている割合が高い)。

質問：家族との関係の変化(女性の回答：上位3位、()は男性)

- ① 特に変化はない 35.6%
- ② コミュニケーションが増え、家族の絆が深まった 29.6%(24.8%)
- ③ 家事や育児の時間が増え、ストレスを感じた 25.6%(11.2%)

○ 観光ニーズ

- ・ 感染拡大の収束後に何をしたいか → **1位：旅行に行きたい 33%**
- ・ 行動範囲(エリア)の変化については、**約6割が「備後圏域など近隣市町の範囲まで」と回答**

○ 働き方

- ・ 今後の働き方については、ICTの活用等による変化が求められている。

質問：感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか

- ① 休暇制度の積極的な取得 45.8%
- ② 生活実態にあわせた出退勤時間の導入 43.6%
- ③ **テレワークの定着 38.6%**
- ④ **WEB会議の積極的な活用 33.4%**
- ⑤ 兼業・副業の推進 27.4%

3-2 市外に進学した福山市出身学生の就職観等に関する調査(概要)【速報値】

実施概要

【調査目的】

新型コロナウイルスの感染拡大による意識の変化, 不安や就職活動において困っていることについて把握するため実施

【調査方法】

ネットアンケート調査

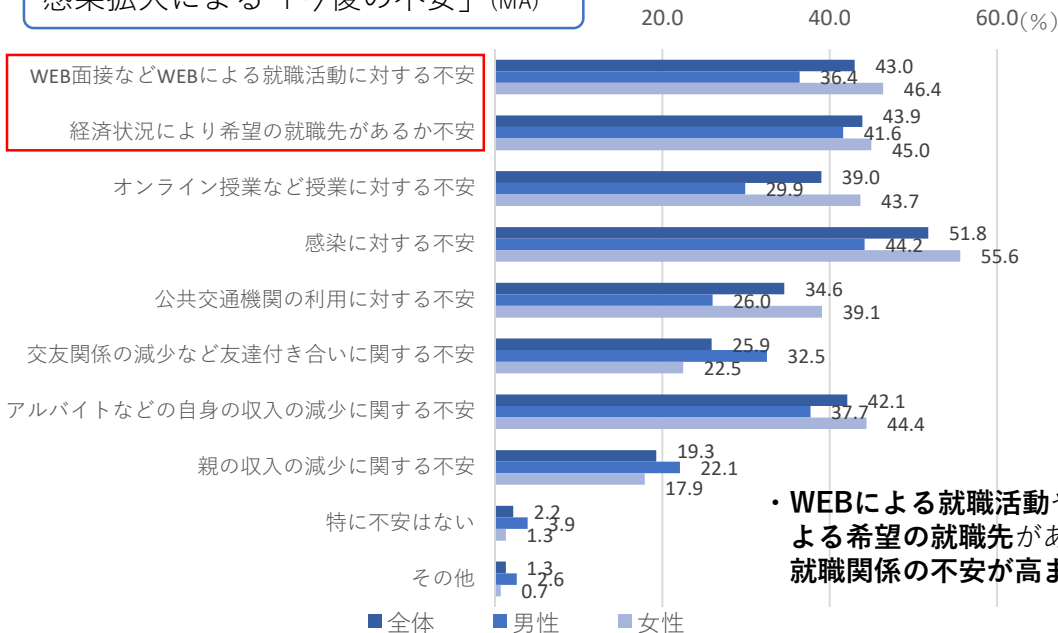
【調査時期】

2020年6月26日(金)～7月31日(金)

【回答者】

- ・「ふるさと福山学生応援パック」に申請した学生 206人
- ・「市外大学への通学支援事業」に応募した学生 22人

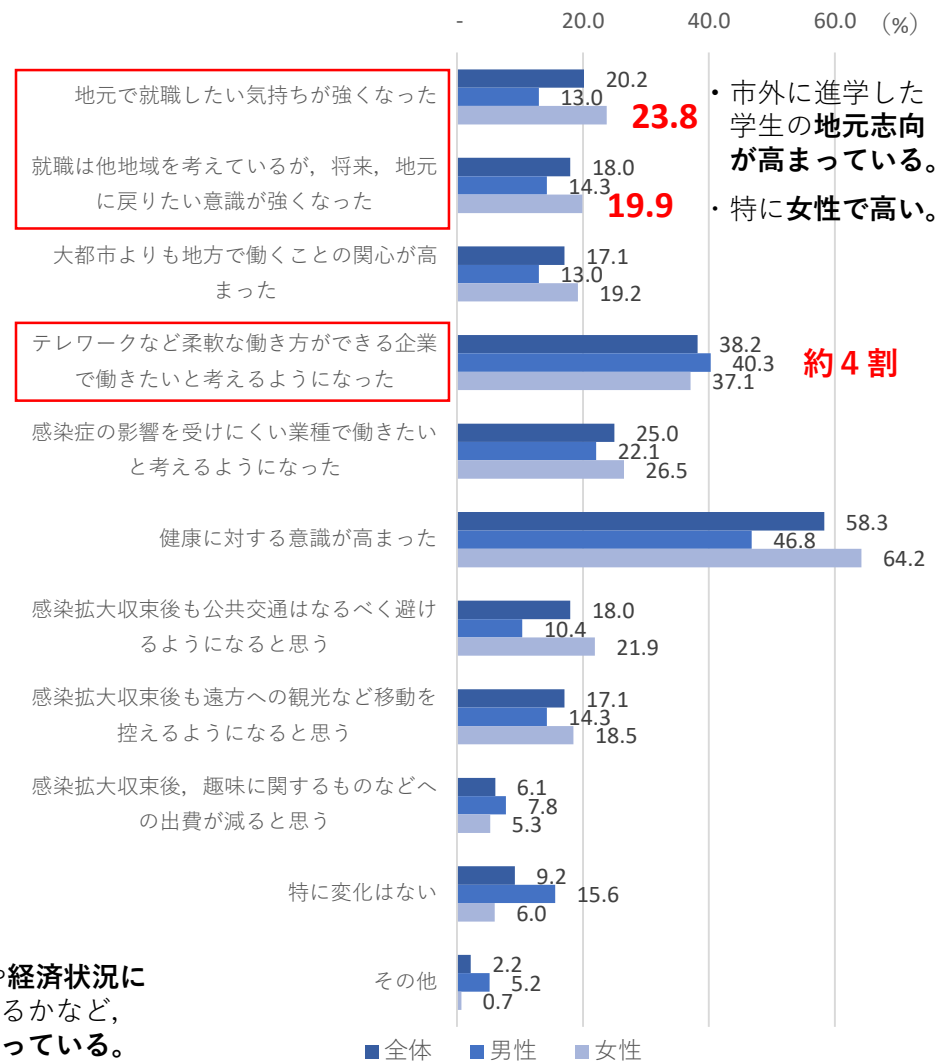
感染拡大による「今後の不安」(MA)



・WEBによる就職活動や経済状況による希望の就職先があるかなど、就職関係の不安が高まっている。

1. 感染拡大による意識の変化・不安

感染拡大による「意識の変化」(MA)



・市外に進学した学生の地元志向が高まっている。
・特に女性で高い。

約4割

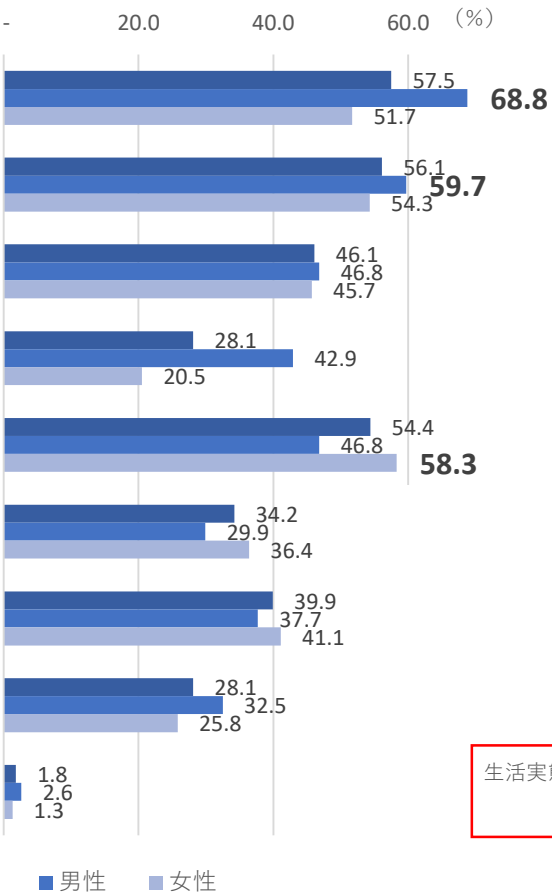
3-2 市外に進学した福山市出身学生の就職観等に関する調査(概要)【速報値】

2. 地元定着に向けて必要なこと

福山に就職する学生が増えるために必要なこと(MA)

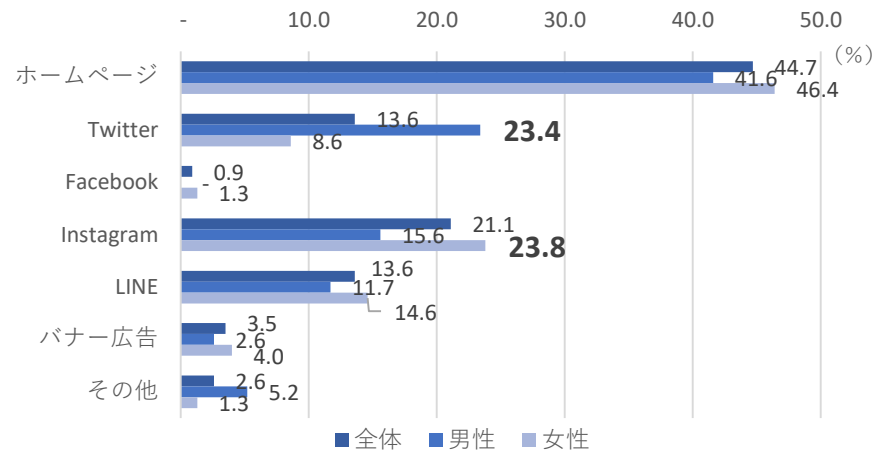
企業の知名度が高まる
賃金条件が良くなる(給料・各種手当・残業代)

駅前の魅力が高まり、にぎわいが増える(飲食店、小売店、レジャー施設など)

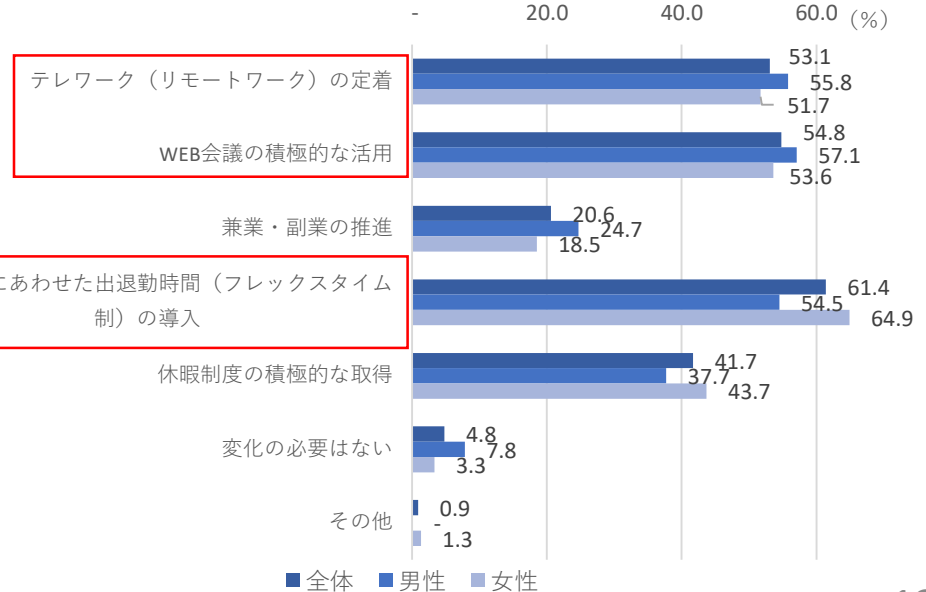


- ・ 企業の関係では、「企業の知名度が高まる」「賃金条件が良くなる」が約6割と高い。性別で比較すると男性で特に高い。
- ・ まちの環境に関しては、「駅前の魅力が高まり、にぎわいが増える」も54.4%と高くなっている。性別で比較すると女性で特に高い。

就職活動に最も有効なWEB情報入手手段(SA)



感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか(MA)



4 福山市中期成長戦略の策定に向けて

4-1 福山市中期成長戦略の策定に向けて

福山市中期成長戦略(総合計画)の策定

- ◆ 総合戦略を本市の中期成長戦略と一体的な取組とするとともに、広島県との連携も更に強化するため、計画期間を一致させる。

区分	計画	～2019年度	2020年度	2021年度～
国	総合戦略	現行(2015～2019)	次期(2020～2024)	
県	ひろしまビジョン (総合計画)	現行(2010～2020)		次期(2021～) ※計画策定は2020年10月(予定)
	総合戦略	現行(2015～2019)	1年延長	次期(2021～)
市	総合計画	現行:第1期基本計画(2017～2020) ※2021年度までの計画期間であったものを1年前倒し		中期成長戦略(2021～)
	総合戦略	現行(2015～2019)	1年延長	

推進体制の再構築

- ◆ 中期成長戦略の策定にあわせ、推進体制を再構築する。

参考資料

1 目的

- 新型コロナウイルスの感染拡大によって、経済活動の変革が迫られる中小企業のICT環境整備を支援
- ICTを活用した生産性向上や働き方改革の推進など、ポストコロナを見据えた圏域経済全体の成長へとつなげる

2 概要

- ICTの活用など産業支援を強化した「**フクビズ**」や「**産業支援コーディネーター**」が中小企業に寄り添う支援
- アドバイスをもとに、**オンライン化などに係る補助金**を活用
- 福山市の企業が代表となり、**圏域内企業とグループを構成することで、補助率・限度額が拡充**

3 事業イメージ

伴走型支援

フクビズのオンライン等による相談の強化

- 広島銀行、中国銀行と連携

+

びんご産業支援コーディネーターの拡充

- ICT等を専門とする新たなコーディネーターの追加



補助金の活用

オンライン化支援

- 事業のオンライン化によって、業績を好転させる取組に対して補助
- WEB会議やテレワークの導入、ECサイトの構築、オンライン化に向けたコンサルティング費用 など

経営基盤強化支援

- IoTの導入などによる経営課題の解決や生産性の向上の取組に対して補助
- 生産性向上のためのセンサーの活用、クラウドサービスの利用、IoTなどの導入・活用に向けたコンサルティング費用 など



※圏域でのグループ申請可能（補助率優遇）

- 福山市の企業が「代表」「グループの構成員の2分の1以上を占める」ことが条件

【補助率の例】

1社	: 3分の2	限度額	50万円
5社	: 4分の3	限度額	350万円
10社以上	: 4分の3	限度額	1,000万円

1 目的

- 今後の旅行者の行動範囲などを踏まえ、**圏域内観光に重点化**
- 身近な観光資源の**魅力を再発見**するとともに、**圏域各市町の消費喚起策をつなぎ**、一元的な**情報発信**として強化

2 概要

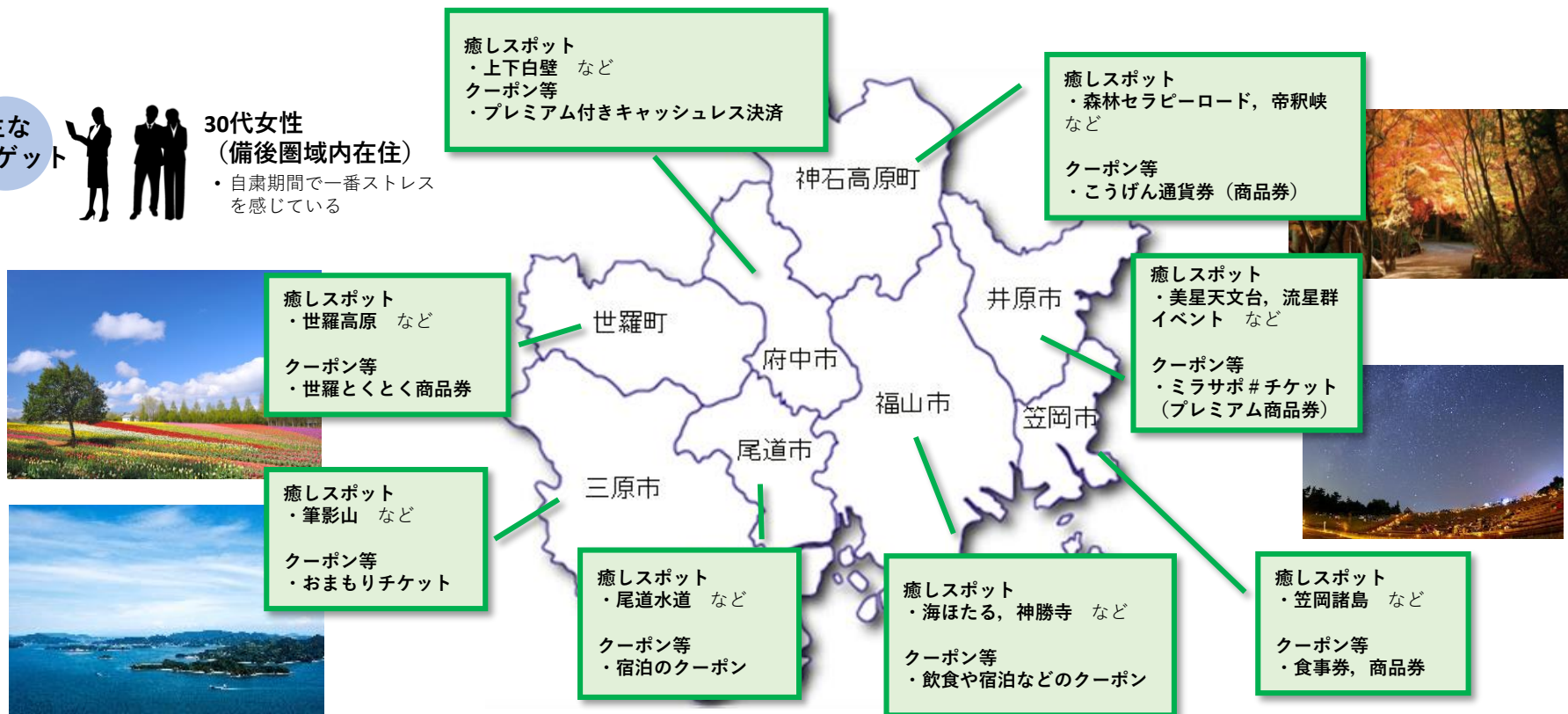
- 圏域住民をターゲットに、**癒しスポット**（リトリート）を**地域情報誌**（月1回連載）や**市HP・SNS**などで発信
- 癒しスポットと**飲食や体験**などを組み合わせた「**おすすめコース**」も提案（自然+食+体験など）
- **各市町における飲食や宿泊のクーポン**などの消費喚起策も合わせて発信する

主な
ターゲット



30代女性
(備後圏域内在住)

- 自粛期間で一番ストレスを感じている



- ・ポストコロナを見据えた場合、**首都圏等から地方へ多様な働き方を求める割合が高まる**ことが想定される。コロナの影響を見極める必要はあるが、社会経済活動が再開されつつある中、**新たな都市魅力の一つとして、ワーケーションの受入環境を充実**させ、本市への新たな人の流れの創出につなげる。
- ・また、コロナ禍の中で、**厳しい状況におかれている宿泊施設等への支援**につなげる。

体験の見える化

①ワーケーションCamp@福山市



事業概要

- ・首都圏等でリモートワークを推奨している企業やベンチャーに勤める従業員等に対し、ワーケーションを通じて福山での特別な体験づくりを実施

- ・ビジネスキャンプの実施（市内企業とのWSや参加者内での研修（商工会議所青年部との連携））
- ・サイクリングなどの体験や福山の食体験の提供 等

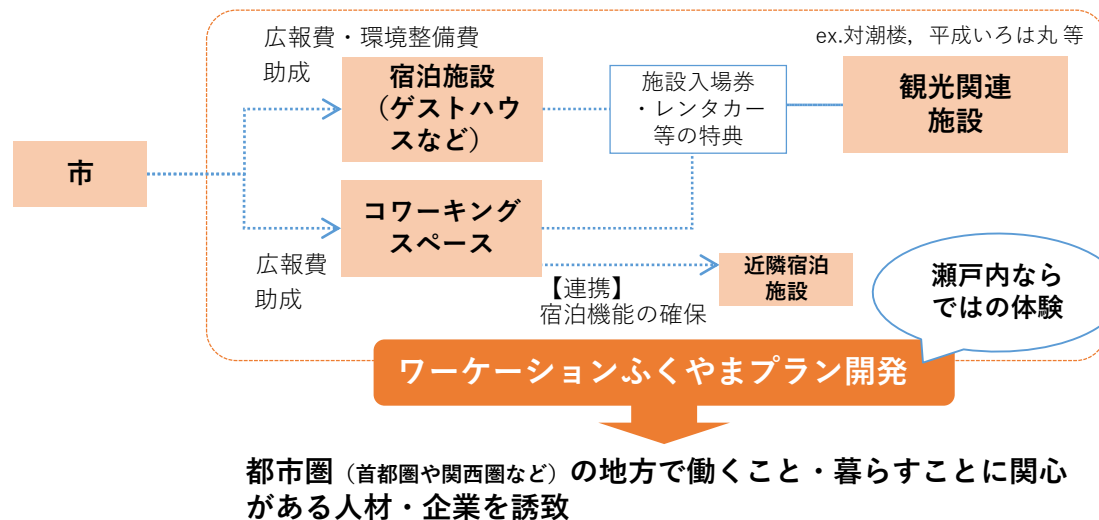
受入れ基盤の整備

②ワーケーションふくやまプラン造成

事業概要

- ・市内の既存施設（宿泊施設等）が、リモートワーク環境を活用し、ワーケーションツアーを企画・実施するための費用を助成

ワーケーションふくやまプランのイメージ



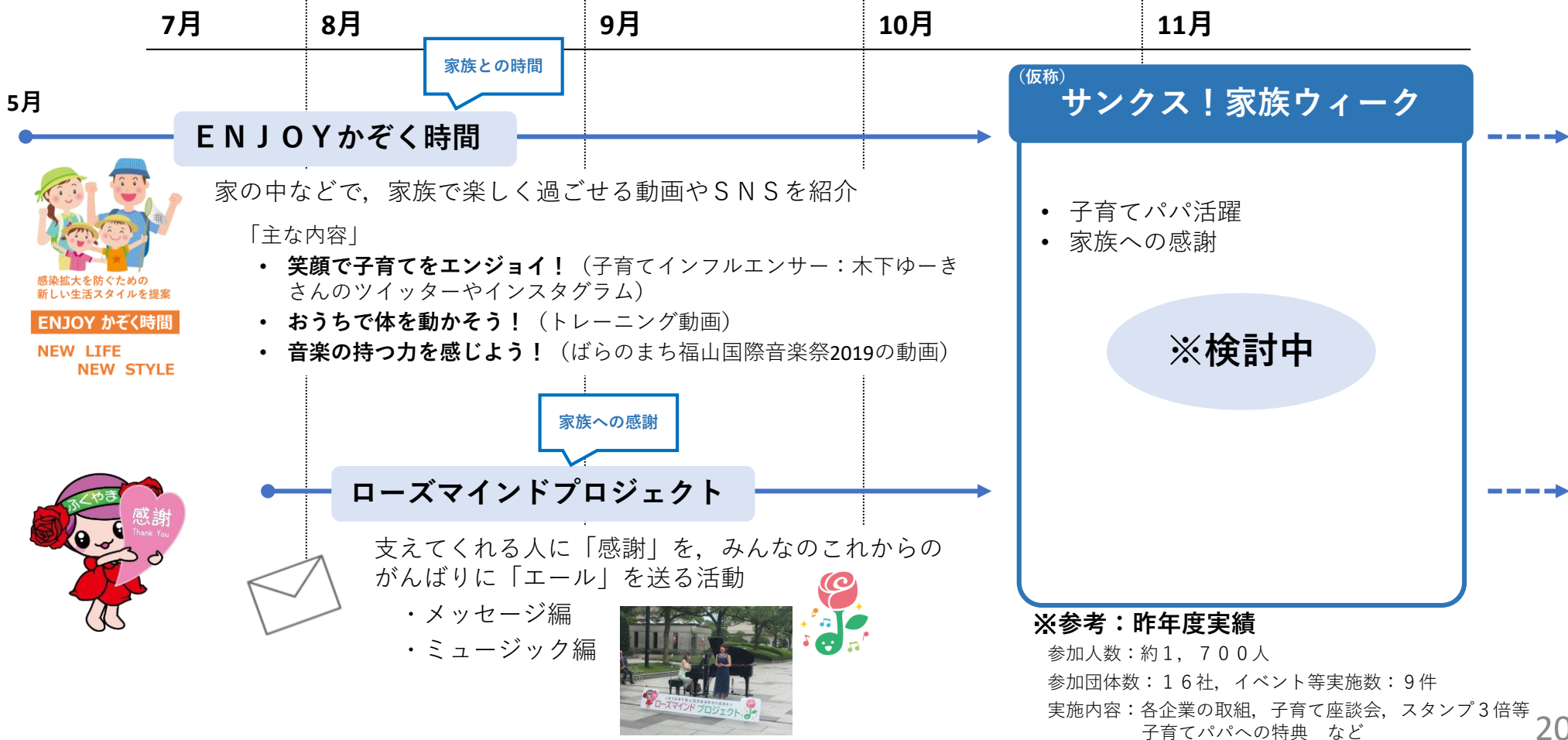
新たな人の流れを創出するとともに、コロナ禍において厳しい状況におかれている宿泊施設等を支援

(仮称) サンクス！家族ウィーク

父親の育児参加促進

母親のリフレッシュ

- 2019年度に実施した「子育てパパ活躍ウィーク」をリニューアル
- 父親の子育て参加促進はメインテーマとして継続しつつ、新型コロナウイルスの影響が拡大する中で改めて注目された「家族」や「生活を支えてくれる人たちに」「感謝」と「エール」を送ることを通じて、その絆を深めるもの



感染拡大を防ぐための新しい生活スタイルを提案

ENJOY かぞく時間

NEW LIFE
NEW STYLE



